

Berlin Report

September 2020

CONTENTS

- * Project 1: HUADOU/ Concept Store
- * Project 2: Anatomie Fleur / Flowershop

1. HUADOU

Project Overview

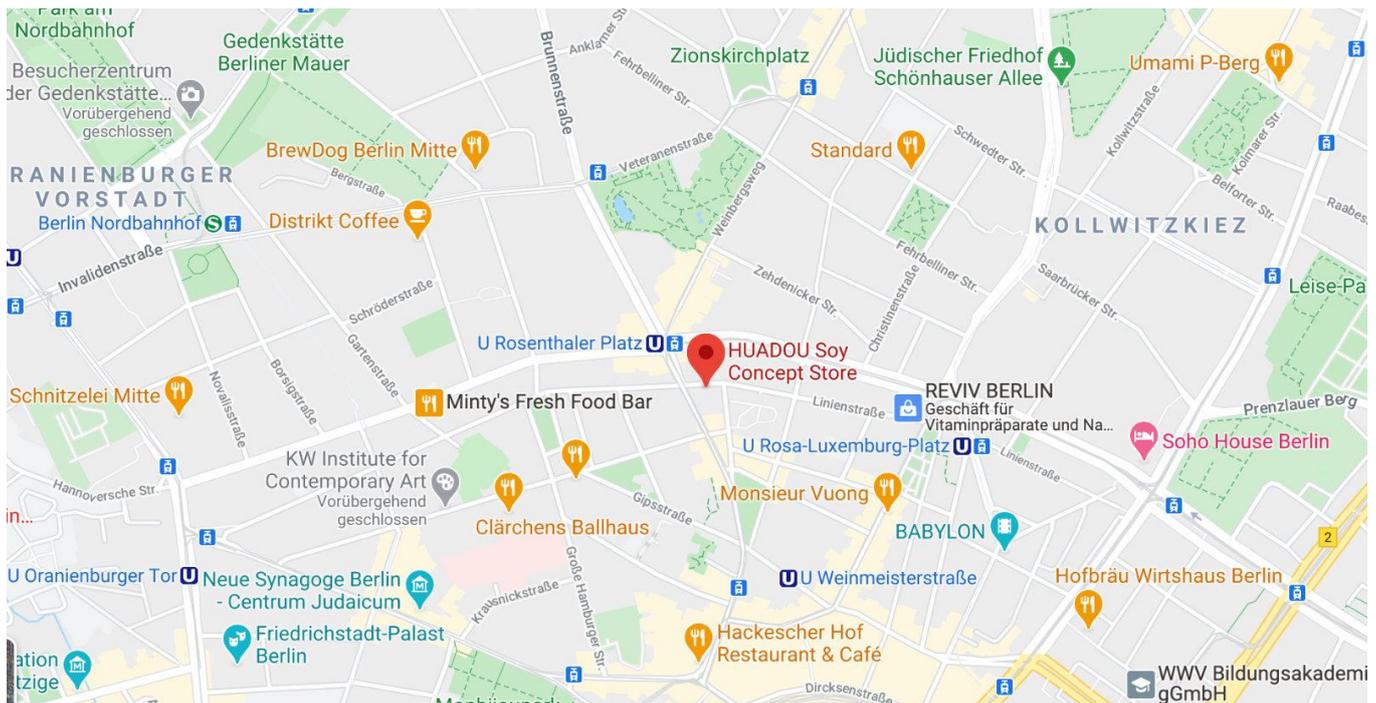
肉食のイメージが強いドイツだが、実はここ5年ほど、菜食・ヴィーガン人口は増加の一途を辿っている。

「HUADOU」は、ヴィーガンのトレンドが流行中のベルリンの中でもカフェやブティックが集まるミッテ地区にオープンした大豆のコンセプトストア。ヨーロッパでは、ヘルシーだが美味しくないというイメージが拭えない大豆製品の本当の美味しさを伝えたいと、Mengya Huang と Sibopeng が始めたプロジェクトだ。建築の学生としてベルリンにやって来た彼らは、故郷で食べるような美味しい大豆製品がベルリンでは手に入らないことに愕然としたという。美味しい豆乳を作るために、四川省の小さな村で行われている伝統的な製法を学び、その村で使われている竹の椅子や竹の建築から着想し、この店のインテリアを作り上げた。ネジなどを使わず、その地で育つ竹だけで作られる椅子。竹の柱は単なる装飾ではなく、空間を支え、棚の構造体として使われている。現場でパッと組み立てられるモジュール建築にも使いやすいところもアジア的な利点だという。経年変化も美しく、成長が早く、強度もあるサステナブルな建材として注目を浴びる竹。建築を担当した ALTER THE AIR は、人はどういった空間に生きるかということが大切なのだという。それが周囲にも影響を与え、社会を変えていくことができると考えているのだ。このストアで美味しい大豆製品を楽しみながら、未来に続く建築空間を感じてほしい。

Project Details

1. Type of Business : Concept Store
2. Open Date: 15/11/2019
3. Location: Linienstrasse 205, 10119 Berlin
4. Size: 85 m2
5. Interior design: ALTER THE AIR <https://altertheair.com/>

LocationMap





「アジア的」なインテリアにはせず、シンプルでモダンなインテリアだが、自然素材ということもあり、暖かさが同居する。



伝統的な製法で豆乳作りができる石臼と豆腐作りに使うボックスなどが、アート作品のように並ぶ店内。



明るく柔らかい色合いの壁は、オーガニックのローム土で塗られている。呼吸する土壁は、店内の湿度を適度に保ち、心地よい空間作りに一役かっている。カフェ空間の椅子は、すべて四川の村から輸入した竹の椅子を使っている。



竹の柱は単なる装飾ではなく、しっかりと空間を支えるように配置されている。



棚は、その場でパッと組み立てることができるモジュール構造。
アジアの建築ではよく見かけるもの。



週に1度、ショーケースのような空間で豆乳作りを見せる。

2. Anatomie Fleur

Project Overview

数々のミュージアムやアート空間に飾られ、独特のバロック、シュールリアルな花のアレンジメントで注目を浴びている「アナトミー・フルール」。カナダ人とパリジェンヌの2人が作り上げる作品は、これまで完全アポイントメント制のショールームでしかお目にかかれなかったが、今夏、期間限定で毎週土曜日にポップアップストアが出るようになった。

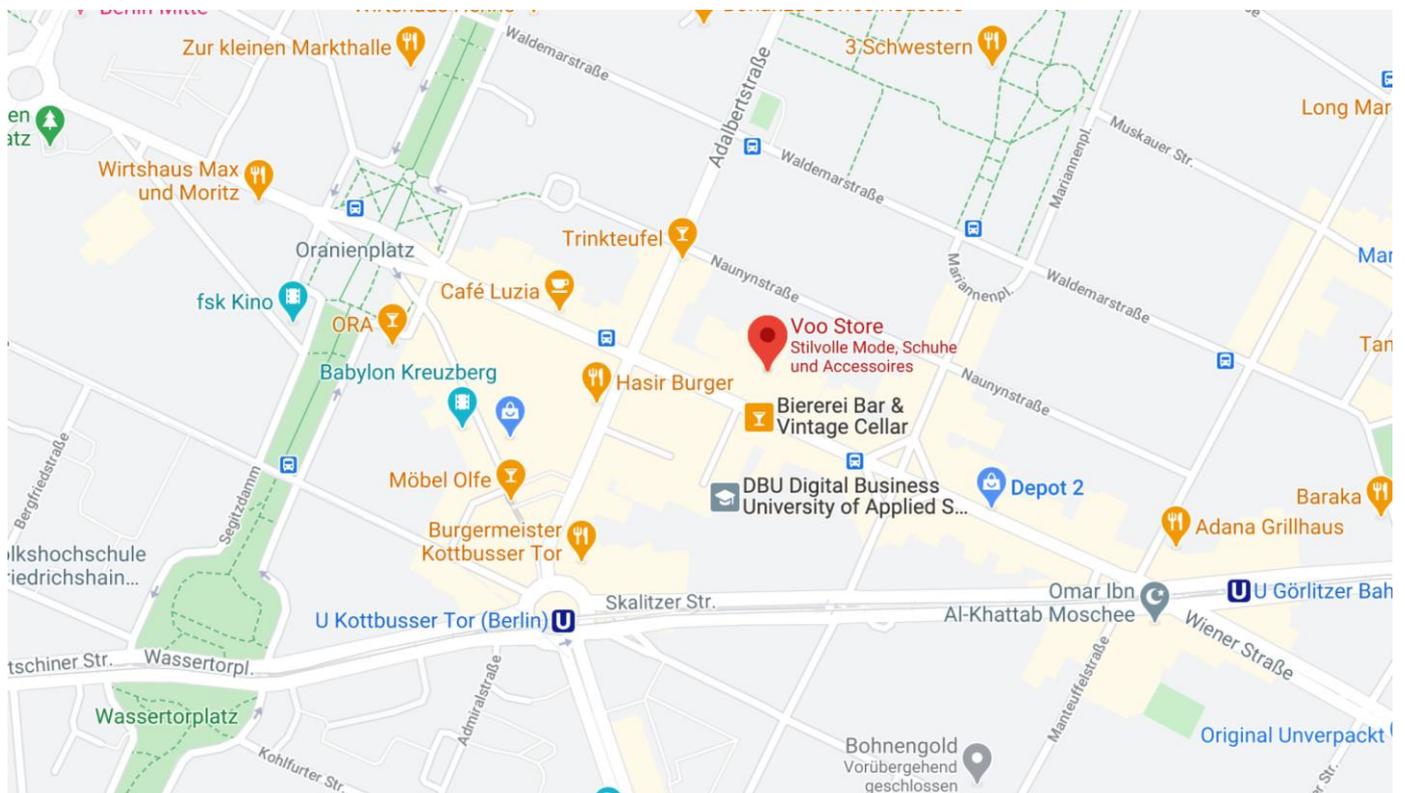
クロイツベルク地区にあるハイセンスなセレクトショップ「Voo Store」の一画にぽんとテーブルを置き、形も色も異なる瓶をずらりと並べ、奥のカウンターの上にはブリキの花瓶に市場で仕入れて来た新鮮な花を並べる。野草や希少な品種などを中心とした品揃えだ。

ファッション小物や器、アートブックなどが並ぶ間にも、大きな花瓶において、豪華な花束を並べる。独特の配色、素材感の組み合わせで、どこに置いても一枚の絵のようになる個性的な花束を、注文してみしてほしい。

Project Details

1. Type of Business : Flower shop / pop-up store
2. Open Date: 18/07/2020
3. Location: Voo Store / Oranienstrasse 24, 10999 Berlin
4. Size: ca.30 m2
5. Art Work / design : Amandine Cheveau, Jean Christian Pullin

Location Map





コンクリートを使った現代的なテーブルの上にガラス瓶をたくさん並べて。小さな空間なので、鏡を置いて広く見せる工夫も。



19世紀に建てられた美しいモザイクタイルのファサードが残る建物。ポップアップストアがある場所の窓を開けてカウンターのように使う。コロナ禍により店内に入りたくないというお客の対応もできる。



セレクトショップの中のポップアップストアということで、店の商品と組み合わせて見せる工夫も。
彼らが好む独特の色使い、人工的な素材感の花が、打ちっぱなしのコンクリートの素っ気ない空間に強烈に映える。